



みらいつうしん

4月号

令和8年4月1日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦 芳子

:・★。,::・° ★。・° *★*:☆。



ご入園・ご進級おめでとうございます。

いよいよ令和8年度がスタートいたしました。本年度は48名の新入園児を迎え、総数179名の園児達がみらいこども園で、乳幼児期の生活を送ります。今年度も、子ども達と一緒にかけがえのない時間を過ごせることをとても楽しみにしております。引き続き、本園の理念である「みらいこども園は、子どもも大人も一人一人が尊重され生きる喜びがもてる場所です」を基本にし、園児一人一人が、園生活を通して、個々の資質や能力が十分発揮できるよう、職員一丸となって努力してまいります。

さて、世の中は目まぐるしく変化し、便利なようで、生きづらい環境になっております。未来を担う子ども達には、どんな困難があろうとも力強く生き抜いて欲しいと思い、本園は遊びを通して、たくさんの体験ができることを重視します。そして、3つの子ども像「①愛情に包まれて安心して育つ子ども②心も体も弾ませて健やかに育つ子ども③人と関わる楽しさを感じながら育つ子ども」を目標に、お子様を大切に見守っていきたくと思います。それには、保護者の方、お子さん、職員とより良いコミュニケーションが取れるようにしていきたいと思ひます。そこで、今年度も『挨拶』を大切にしていきたいと思ひます。挨拶は、相手の存在を認めて関係性を深めるきっかけになります。子ども達が、毎日の生活の中でたくさんの友達に出会い、人との関わりの一部として、『挨拶』を習慣として根付かせていきたいと思ひます。特に「おはよう」「ありがとう」「いただきます」「ご馳走さま」「さようなら」の言葉は、これからの人生においてとても大切な言葉だと思ひますので、丁寧に伝えていきます。どうぞ、保護者の皆様も笑顔で挨拶をしていただき、子どものお手本となってください。職員も保護者の方々にお声をたくさんおかけし円滑な関係性を築いてけるよう努力いたします。また、4月は新しい生活の始まりですので、子ども達は、ドキドキ感とワクワク感を交差しながら、緊張や不安でいっぱいです。一生懸命新しい環境に足を踏み出し、孤軍奮闘していますので、園から帰ってきたら、お子様をぎゅっと抱きしめ、「頑張ったね。」と声をかけてあげてください。これが、親子の絆を深く結び付け、愛着形成に繋がりますので、子ども達と過ごす家庭時間も大切に、子育てをしていきましょう。みらいこども園が、子ども達にとって大好きな場所となり、保護者の皆様にとっても安心して預けられる施設となることを目指してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。(勝浦)

にぎやかな声が園内に響き、入園、進級した子ども達は喜びや不安を笑顔や涙で訴えるように表現しています。一人一人違うお子さんの想いに寄り添い丁寧に丁寧に関わっていきたくと思ひます。また、今年度は調布学園創立100周年を迎えます。「温故知新」の精神で、気持ち新たに保育にあたっていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。(副園長 中城)

日常生活の中には、大人にとっては「あたりまえ」のことがたくさん転がっています。今、地球上で様々な事が起こっています。平和な日常を、大人の感覚を「あたりまえ」と思わず、子どもを尊重し、大人も子どもも一人一人が今を大切にやりたいことが叶えられるみらいこども園でありたいと思ひています。

(主幹保育教諭 柳鶴)

進級した1歳児さんが、新しいお友達のお母さんに「おはよう」と声を掛けられると「おはよう」と返すようにおじぎをしています。新しい出会いにやわらかな気持ちになりました。日々の中で出会う人、もの、出来事を通して芽生えるさまざまな想いをしっかりと受け止め、一緒に感じていけるようにしたいと思ひています。(主幹保育教諭 三ツ橋)

小さいお友達のお手伝いができるよ！



ジャングルジムが新しくなりました